

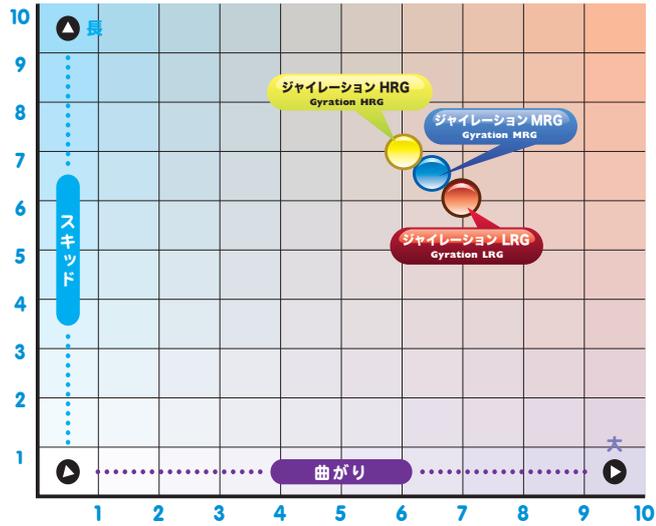
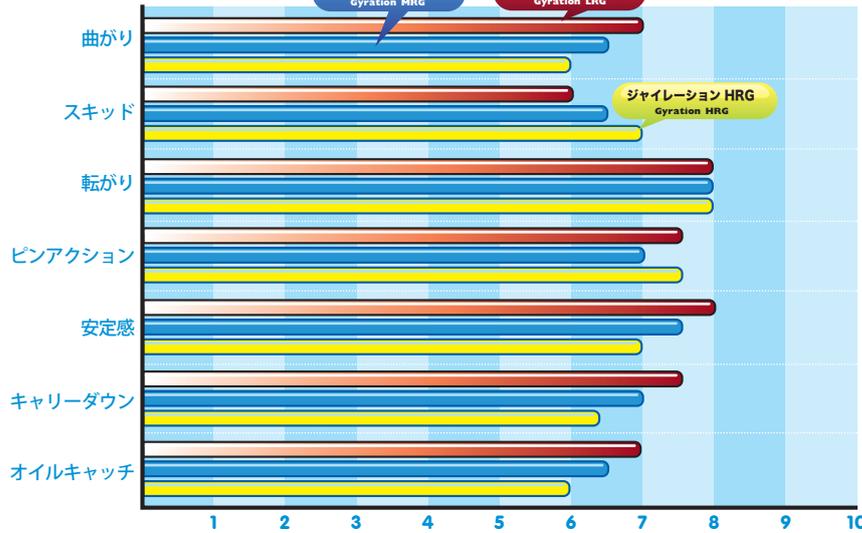
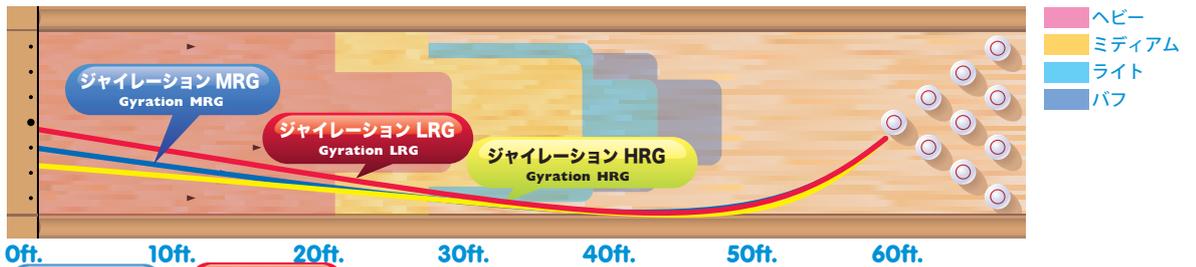
ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ジャイレーション	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
-------------------------	---------------------	--------------------------

ジャイレーション LRG RG 2.460 Δ RG 0.048	● ピン ★ PAP ✕ CG ■ バランスホール		比較対照ボール：ジャイレーション フレアの幅 <input type="text"/> インチ PAPからピンとの距離 <input type="text"/> インチ
ジャイレーション MRG RG 2.500 Δ RG 0.058			表面加工 <input checked="" type="checkbox"/> 箱出し状態 <input type="checkbox"/> 加工 <input type="checkbox"/> ペーパー <input type="checkbox"/> ポリッシュ
ジャイレーション HRG RG 2.550 Δ RG 0.040			番 <input type="text"/>



レーンコンディション Light Oil Light to Medium Medium Oil Medium to Heavy Heavy Oil	バックエンドリアクション Smooth Smooth to Arc Arc Arc to Sharp Sharp Angle	レンダス Early Roll Early to Med Med-Lane Med to Late Late Roll
--	---	--

ボールの評価

現在キャッチが優先されるカバーストック事情の中、ミディアムコンディション以下で使用でき、尚且つその状況下においてボールの選択肢を増やすこと。今回発売するGyratonはやや遅めのコンディションにおいて対応幅を得るために開発されました。このGyratonの最大の特徴は、採用しているコアはすべてハイパフォーマンスコアであること。ABSでも初となる”ハイパフォーマンスコアと価格帯との挑戦”がこのGyratonには込められています。

カバーストックは統一性を持たせ、スキッド・フック・ロールとリアクションに影響及ぼす要因の一つである各々のコアが持つ慣性と特性を活かし、LRG(Low RG)、MRG(Mid RG)、HRG(High RG)と設定し、表面加工で調整を行うことで3種類の用途に合わせた曲がりを実現させました。

日本におけるフランチャイズのコンディション、夜のリーグでの投球、ウッドベースのセンター、プロトーナメントにおける最終シフト。このGyratonはさまざまなシーンでビギナークラスから上級者まで使用して頂けると幸いです。

最後に下記にボールのスペック及びリアクション特性を明記致します。購入の目安にして頂けたら幸いです。

LRG(Low RG)	・Low Riderコア	・RG2.46, Δ RG0.048	・1000ポリッシュ	一番早めの立ち上がりで先での入射角あり。
MRG(Mid RG)	・Cruiserコア	・RG2.50, Δ RG0.058	・2000ポリッシュ	中間スペックで扱いやすい持続的曲がり。
HRG(High RG)	・Bulletコ	・RG2.55, Δ RG0.040	・4000ポリッシュ	走りをメイン+(プラス)先の動きを強調。

特記事項

**業界でもトップレベルとも言える、ハイパフォーマンスコアと価格帯双方の実現。
LRG・MRG・HRG各々のコア・慣性の違いから示される特性でコンディションを攻略せよ！**